

さくら村ツリーハウス完成

あさひガキ大将養成講座で9年越し

カキ大将養成講座を主宰しているのは同町在住の安藤征夫さん(70)だ。自宅の裏山を切り拓いて拠点のさくら村を整備し、子どもたち自身で遊びたい遊具を考え、道具の扱い方を学びながら

豊田市中村地区の東萩平町で行われている「カキ大将養成講座」の拠点さくら村で建設中だったツリーハウスが希望の完成を迎えた。先月22日のお披露目会では講座に参加する子どもや保護者、関係者らおよそ120人が祝い、餅投げや演奏、舞なども楽しんだ。太田稔彦市長も駆けつけた。

豊田市中村地区の東萩平町で行われている「カキ大将養成講座」の拠点さくら村で建設中だったツリーハウスが希望の完成を迎えた。先月22日のお披露目会では講座に参加する子どもや保護者、関係者らおよそ120人が祝い、餅投げや演奏、舞なども楽しんだ。太田稔彦市長も駆けつけた。



左から大工の中村武司さん、主宰の安藤征夫さん、建築設計士の安井聡太郎さん。

大工の中村さんはシブリパーク内の木造建築を手掛けた人。お披露目会のあいさつでは「目の前にある素材を工夫して使ってみよう」「頭で考えず、まず手を動かしてみよう」と、ありあわせの道具や材料を使って自分の手をつくるプ

さんの技術を受く大学生たちが力を合わせてきた。丸太や竹など近くで手に入る素材も最大限に活用している。

完成までにかかった年月はおおよそ9年。毎月2回の作業日を中心に、講座の子ともたちや、中村

泊もできるようにとの依頼を受け、どうしたら形にできるかと何度も通って知恵を絞りました」と話す。季節ごとに変化する自然とのつながりを体感できるように細部まで工夫を凝らした。

リコラージュ」の概念を子どもたちにも解りやすく紹介していた。

主宰の安藤さんはツリーハウスつくりを通して、子どもたちに「やれやれる」ことを伝えたい。完成したツリーハウスで思い思いに過ごす子どもたちの歓声が山に響き、安藤さんたちは目を細めて眺めていた。

【地域記者 戸田育代】

「やればできる」 子どもに伝える

自分たちの手で作っていき活動の中心にしよう。様々な経験を通して子ども同士で育ちあう場づく

今回完成したツリーハウスは、さくら村にあるシンボルの山桜に巻き付

りをしている。市のわくわく事業補助金も活用して2014年にスタートしたこの活動は、毎年の参加募集が即定員になるほどの人気で、これまでに延べ1万8千人あまりが訪れている。

くような形で作られていた。独特の設計とあたたかみのあるたたずまいは、建築設計士の安井聡太郎さんと、大工の中村武司さんのタッグで実現したものだ。

完成までにかかった年月はおおよそ9年。毎月2回の作業日を中心に、講座の子ともたちや、中村

リコラージュ」の概念を子どもたちにも解りやすく紹介していた。

子どもたちに伝えてきた。また「何もできない人はいない」と、子どもたち一人ひとりの内面の成長に丁寧に寄り添ってきた。

矢作新報

〒470-0372
発行所 豊田市井上町1丁目73番地
矢作新報社
TEL 0565-45-2117(代)
FAX 43-2030
Eメール・ホームページ
kikaku-yahagi@sasahi-net.ne.jp
URL http://www.yahagishinpo.com/

どんぐりの里いなび
6月の営業案内

8/11(金)~15(火)は
休日時間で営業
横丁▷9:30オープン
温泉▷18:00閉店

9月のイベント予定
どんぐりの湯 9/18(月・祝)
敬老の日イベント
どんぐり横丁 9/23(日)・24(月)
新米フェア

どんぐりの湯
8/10(木)は
休まず営業

稲武温泉
どんぐりの湯
☎ 0565-82-3135
豊田市武節町針原22-1
http://www.dongurinosato.com/
午前10時(土日祝は午前9時)~午後9時
直売施設 どんぐり横丁
営業時間:9時~17時(土日祝は18時まで)
tel.0565-82-3666

きょうの紙面

2 車いすでおいでんまつり参加
イベントにもバリアフリーを
5 旭の魅力を若者へ
こらっせるオープン
6 若手ゴルフアー
豊田の3人に注目

あさひ薪づくり研究会

調査団体名 : あさひ薪づくり研究会
設立年 : 2014(平成26)年2月
団体URL :
活動拠点 : 豊田市東萩平町
取材日 : 2015年12月5日

団体代表者名 : 安藤征夫
対応してくれた人の名前 : 安藤征夫

調査員 : 高橋伸夫、大森正昭
レポート作成者 : 大森正昭

活動内容

あさひ薪づくり研究会は、旭木の駅プロジェクトによる間伐材の販売方法では採算が合わないため、もう少し付加価値の高いものをつくろうと、旭木の駅プロジェクトの中の10人でつくった。

旭木の駅プロジェクトは現在チップ販売だけで、市の補助があるものの採算的に苦しい状況となっている。このため、あさひ薪づくり研究会で間伐材を薪にして儲け補填している。平成27年からはストーブ販売も行っている。

薪の材は、旭木の駅プロジェクトから購入するものと、直接購入との2種類があり、自分達も忙しいため、直接購入する分については、玉切り済みならより高価に買い取る仕組みもつくった。

これらがあさひ薪づくり研究会のハード事業。

あさひ薪づくり研究会のソフト事業として、平成26年8月17日からツリーハウスづくりを一般公募し、30家族108名の親子と一緒にツリーハウスや遊具をつくりながら毎月2回の活動を行っている。

この活動は、小さい頃から森に親しむことにより、実体験として空気や水を育む森の大切さを分かってもらい、この子達が大人になった時、森の大切さや山の管理の大切さを理解出来るようにしている。

キャッチフレーズ

やる気があれば何とかなる。

会のモットー(何を大切にしているか)

山を自分自身が体感する。次世代のために森を維持する。

設立から現在に至るまで変化したこと

計画したことがスピード感を持って着実に進んでいる。例えば、平成26年の2月に会を設立しその年の9月から薪が売れ、百二十万の売り上げがあった。

販売先は、田舎では売れないので知立、岡崎、安城、春日井など都会への販売である。

ツリーハウスは、平成26年の8月に始め、既にハウスや園地・遊具も出来つつあり、順調に進んでいる。

また、子ども達の家族を対象にしたツリークライミングも年2回行っている。

連携している団体・専門家・自治体など

愛知学泉大が、平成28年からまちづくり活動の授業として、この地域の課題を一緒に解決していくことを単位として認め、1年生から3年生までの3年間かけて学習する仕組みをつくろうとしている。そのほかに名城大学、愛知産業大学や旭木の駅プロジェクトなど。「山村再生担い手づくり事例集」に載っている団体のほとんどみんな関係している。

また、ツリーハウスを造っている先生は、建築家の安井さん及びサツキとメイの家をつくった棟梁の中村さんで、月に一回来て頂いている。

山村再生や、その担い手づくりに関わる具体的な活動(例:小仕事づくり、山村・森林資源活用など)

薪づくりは、間伐の推進を目的にしているため、針葉樹を優先している。従って8割が針葉樹で、広葉樹のみの薪が欲しいと言われる方には基本的には提供していない。

私は空き家を解消する活動をしており、今までに15軒50人ぐらいの世話をした。平成27年もここの近所の空き家を5月と7月にうめ、10月にも面接をし、22戸の集落で3軒の世話をした。

今、この自治体の定住促進部長として、こうした交渉の出来る人材を来年の4月までに10人は育てようと、毎月交渉術や空き家に関する法律などの勉強会を行っている。

現在直面している課題

「あさひ薪づくり研究会」から、研究会の文字をとって自立団体とすること。

今後やってみたいこと

荒れ農地の解消では、農地を農地として貸そうと思うと面積が広く、都会から来た人は機械がないと耕作出来ない。そこで荒れ農地を薪置き場として貸すことで、家族とともにここに来て木に親しみつつ山での遊びも出来、薪づくりを行えるように考えた。現在は畑2枚を薪置き場として無償で貸している。地主さんからは管理してもらえれば草刈りもせずにすむと了解していただいている。

そのためにはどんな情報・人脈が必要か

日々アンテナを高くし、たくさんの情報を収集したい。どんな情報でも良い、何かの役に立つ。例えば後進地の視察でも、やってはいけないことが分かり勉強になる。また、多くの人と話すこと、それも自分の地域外の人と話すことで多くの情報が得られる。

チームオリジナルの質問

＜質問内容＞色々な取組をされていますね。

＜答え＞次の世代の森に係わる人を育成したい。

平成27年4月から始めた私塾「ガキ大将養成講座」は、座禅や山登りなどをつうじて、義理と人情のある子ども達を育てよう取り組んでいる。これには、名古屋、瀬戸、浜松などの街の子ども達が参加している。

さらに、名古屋の今池の子供会を呼び田植えや間伐をしてもらったり、また、ファミリー登山部をつくって、小学生を対象に年に数回の登山をしたりもしている。まだ退職前だが、仕事よりも忙しい日々を送っている。

その他、伝えたいこと

今は、自分の活動が流域圏としてみた時にどういう位置にあるのか把握出来ない。流域圏全体で顔の見える関係をつくっていくことが出来ないか。顔が見える関係になれば、山の人が海を汚してはいけない、海の人が山に木を植えたい、という気持ちが生まれるのではないか。

写真



右が「旭薪づくり研究会」と
「あさひガキ大将養成委員会」の安藤さん



新築中の
「さくら村
ツリーハウス



「旭薪づくり研究会」には、このよ
うな土場が5つある



「さくら村秘密基地」も増設中だ